



# 中国事業の競争力強化に向けて 全土をカバーする集約化IT基盤を構築

## NSSOL現地法人が実施計画作成から運用までを総合的に支援

### 背景

中国での店舗展開を加速させ、競争力を強化する。経営スピード向上、システム安定化、コスト低減などを目標に、上海、重慶、大連、北京といった地域事業会社ごとに構築したシステムを刷新し、統括会社に集約したいと考えた。



株式会社ローソン  
ITステーション 部長  
兼 オーバーシーズカンパニー  
小畑 康治氏

### ソリューション

新日鉄住金ソリューションズ中国現地法人の支援により、集約化IT基盤を日本と同品質で構築・運用する。ITのディレクターが実施計画作成段階から参画し、NSSOLのクラウド技術と中国人エンジニアのスキルを融合し、完遂した。

### 成果

中国全土をカバーする集約化IT基盤が計画通り完成。地域事業会社新設や店舗数急増などの際に1週間でIT基盤サービスの提供を実現すると同時に、ITの見える化によるコスト低減、ガバナンス確立、システム安定化を達成した。

### 中国での店舗展開加速に備えてIT基盤の集約を検討

「マチの健康ステーション」をキャッチフレーズに、グローバルにコンビニエンスストアチェーン事業を推進するローソン。中国では389店(2014年2月末現在)を展開する。同社が、中国における情報システムの見直しを検討したのは2012年のことである。ローソンは上海、重慶、大連、北京の4地域に事業会社を設立して店舗を展開(北京は店舗を計画)していたが、当時は地域事業会社が個別にシステムを構築・運用していた。

競争力強化に向けてローソンは2012年5月、中国国内の事業投資・FCライセンス管理および経営管理機能を統括する「羅森(中国)投資有限公司(以下、ローソンチャイナ)」を設立。経営スピード向上、システム安定化、コスト低減などを目標に、システムの集約化に取り組んだ。

### NSSOL中国現地法人のITのディレクターが実施計画作成から支援

ローソンチャイナは複数のITベンダーに提案を依頼。新IT基盤の構築パートナーとして選択したのが、新日鉄住金ソリューションズ(以下、NSSOL)の中国現地法人「新日鉄住金軟件(上海)有限公司(以下、NSSOL上海)」である。NSSOL上海は、顧客のIT企画業務を支援するITのディレクターを軸にプロジェクトを推進。2012年8月に各事業会社のIT基盤の調査を開始し、12月に実施計画を作成。2013年1~8月にネットワークを含むIT基盤を全面刷新して、システム集約を開始した。NSSOL上海は、NSSOLのプライベートクラウド構築フレームワーク「absonne Enterprise Cloud Framework」と、中国の商習慣・技術に詳しいNSSOL上海の中国人エンジニアを融合させて、日本と同じ品質のリソースプール型IT基盤サービスを構築・運用開始に導いた。

### 仮想化技術で地域事業会社設立時などにIT基盤を1週間で用意

ローソンチャイナはNSSOL上海の支援によって「集約化IT基盤」の構築を完了したあと、アプリケーションの刷新や店舗機器の入れ替えを実施。並行して2013年12月までに、中国全土の店舗からの受発注処理、物流企業とのIT連携、情報分析などを担う多数のシステムを、事業会社ごとに集約していった。

中国全土をカバーする集約化IT基盤の成果は期待通りである。仮想化技術によって地域事業会社新設や店舗数急増などの際、必要なIT環境を1週間で用意できるようになったほか、システムに対する24時間365日の稼働監視が行われるようになっている。このため、経営スピードと変化対応力の向上、ITの見える化によるコスト低減やガバナンスの強化、システムの安定化が実現した。

## Key to Success

ローソンチャイナがIT基盤の集約に取り組んだ背景は、中国各地域の事業会社がそれぞれ個別にシステムを構築していたことである。

ローソン ITステーション 部長 兼 オーバーシーズカンパニーの小畑康治氏は「上海、重慶、大連、北京といった地域事業会社は、設立に合わせて別々にシステムを構築してきました。そのため、機器構成が少しずつ違うほか、現地に出向かないとメンテナンスできないなど、運用やITガバナンスの点で課題がありました」と振り返る。

中国の事業展開を加速するには、こうした環境が壁になりかねない。

「ITを使った新たなサービスを展開しようにも地域事業会社それぞれのシステムで開発が必要になり、サービス開始時期に差が発生していました。各地域事業会社を設立し出店してきた経緯を踏まえると、当時としては適切な判断でした。しかし、やがて弊害が目立つようになり、「明日すぐ開店したい」という要請に対応することを目標に、全面的な刷新のうえ、集約化を決定しました」(小畑氏)

IT基盤の集約に向けて、選択したITパートナーがNSSOL上海である。

小畑氏は選定理由を「我々は小売業なのでITについても“旬(しゅん)”の技術を適用できるベンダーを選びます。まず、機能/納期/品質/コストを厳格に順守でき、仮想化技術の実績が豊富な日系企業に候補を絞り込みました。さらにNSSOL上海では、現場のリーダーやプロジェクトマネージャなど、ほとんどの中国人エンジニアが日本のNSSOLと同等の仕事のやり方を身につけ、知識吸収意欲が旺盛です。日本語でコミュニケーションでき、仮

想化技術を採用したIT基盤の構築プロジェクトを担える中国人エンジニアをこれだけそろえているところは、ほかにありません」と語る。

プロジェクトでは、NSSOLが日本で培った技術と中国人エンジニアの高いスキルが融合された。

「NSSOLがプライベートクラウドサービスの構築で培ったフレームワークであるabsonne Enterprise Cloud Frameworkを利用し、中国人エンジニアが中国の通信事情などに合わせてIT基盤を構築しました」(同)

### NSSOL独自のクラウド技術を適用 中国人エンジニアが幅広く支援

中国人エンジニアの支援内容は幅広い領域に及んでいる。

「各地域事業会社を訪問してIT環境

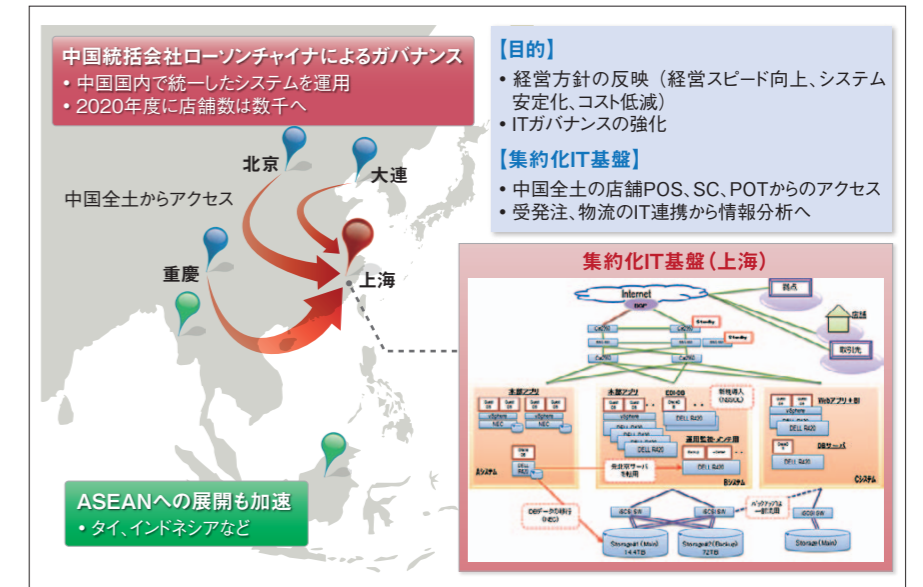
の実情を調査した際には、外国人が訪問しても簡単に聞き出せない、中国各地域固有の商慣習やIT運用の諸事情をNSSOL上海の中国人エンジニアによって知ることができました」(同)

集約化IT基盤の完成度に関する小畑氏の評価は高い。

「IT基盤は今のところ100%期待通り稼働しています。IT基盤の展開期間が劇的に短縮されたことで、来店するお客様への新サービス提供が加速できます。また、24時間365日の稼働監視でシステムが安定化しました。ITの見える化や、メンテナンスの一極集中による効率化も実現できました」

ローソンは今後、東南アジアの事業展開も加速していく。小畑氏は「NSSOLなら、現場のIT業務に加え、システム研究開発センターによる最新技術の支援もグローバルに受けられます。中国以外の支援についてもご提案をお願いしたいと思います」と語る。

### ローソンチャイナが導入した集約化IT基盤の概要



### コアテクノロジー

ITのディレクター、absonne(アブソンス) Enterprise Cloud Framework、マルチベンダー、仮想化統合基盤、24時間365日の稼働監視、インシデント管理

### システム概要

●サーバー: 20台 ●ストレージ: 4台 ●仮想化ソフトウェア: VMware vSphere

## LAWSON

羅森(中国)投資有限公司  
本社: 上海市淮海中路283号 香港廣場27F  
設立: 2012年  
資本金: 8億元(約130億円)(2014年2月28日現在)